

議会だより 議会改革記事まとめ

- ・議会改革の“いま”と“これから”……………1～2ページ
- ・神河オーガニック推進会・神河町商工会との意見交換会（2023 年）…… 3ページ
- ・神河町商工会「次世代プラン創造委員会」意見交換会（2024 年）……4ページ
- ・政策提言（総務文教常任委員会・民生福祉常任委員会）（2023 年）……5ページ
- ・政策提言（産業建設常任委員会）（2024 年）……6ページ
- ・議会改革調査特別委員会設置（2024 年）……………7ページ
- ・神河町議会のあり方ゼミナール（2024 年～2025 年）……8～10 ページ

町民に開かれた議会を目指して

議会改革の“いま”と“これから”

令和4年の町議会議員選挙が無投票、定数割れであったことを受け、議会改革を推進するための議会改革調査特別委員会を令和6年5月に設置しました。町民が意見を出しやすく、多様な考えが届く議会にするために取り組んできた内容を紹介します。

これまでの取組

先進地視察

令和5年7月に議会運営委員会で宮城県大和町議会、柴田町議会を訪問し、議会改革の取組を調査しました。



神戸国際大学との連携

大学生が見た議会の様子、町内を巡って感じた思いをもとに意見交換を実施しました。



常任委員会による政策提言

住民の声を町政に反映させるため、政策提言を2回行いました。議会だより No.82 に提言後の町の取組を掲載しています。



意見交換会の裾野を広げる

町内で活動されている少人数の団体やグループ等を対象に意見交換会を開催してきました。



YouTube 動画配信

令和4年からYouTubeで本会議の様子を公開しています。お持ちのパソコンやスマートフォンでいつでも視聴できます。

タブレット端末の導入

合理的な議会運営を行うため、令和3年8月からタブレット端末を導入し、資料の閲覧、スケジュール管理を行っています。

令和6年度の取組

神河町議会のあり方ゼミナール

(第1ステージ)の開催

町民の議会への関心を高め、議会の活性化を図る目的で、町民がゼミナール生となる「神河町議会のあり方ゼミナール」を開催しました。第1ステージの詳細は2～4ページで紹介しています。



議員報酬の改善調査

議員報酬の適正化を検討する材料として、住民との対話や資料作成など目には見えない議員活動を数値化する活動を行いました。

議会だよりのリニューアル

親しまれる議会だよりを目指し、No.81からリニューアルしました。



これからの取組

神河町議会のあり方ゼミナール

(第2ステージ)の開催

ゼミナール生が議員になるとしたときの町の課題は何か、選挙公約に何を掲げるかを議員と一緒に考え、模擬議会で町の執行部に対して政策提言(一般質問)を行います。

議員報酬の適正化・定数の見直し

議員報酬の改善調査の結果から、神河町議会議員の適切な議員報酬・定数を導き出します。また、各地域での議員報告会を行います。

議会改革の取組を進め、

町民が意見を出しやすく、多様な考えが届く議会

を目指します！

委員長のひとこと

令和8年4月執行予定の町議会議員選挙まであと1年です。それまでに議会の魅力向上と更なる情報発信に努め、次期選挙までに多くの方が立候補できる環境を整えたいと考えています。



小寺俊輔委員長

「意見交換会」を開催しました

10月20日と11月14日にそれぞれ意見交換会を開催しました。
いただいたご意見、ご提案を参考にし、町へ働きかけをしていきます。

➤ 神河オーガニック推進会 (10/20 開催)

第3期健康増進・食育推進計画のさらなる取組強化を。

令和7年度のオーガニックビレッジ宣言を目指しましょう。

学校給食のオーガニック化を目指すため、有機給食推進協議会を立ち上げてはどうか。

食育、給食に対して重点的に予算をつけてほしい。



町内で有機農業に取り組む地域（オーガニックビレッジ）を設定し、有機農業に取り組むモデル地区にしてはどうか。

町内の有機農業者を支援する補助制度を。

オーガニックとは・・・
農薬や化学肥料に頼らず、太陽・水・土地・そこに生物など自然の恵みをいかした農林水産業や加工方法。

神河オーガニック推進会

竹ノ内
陽祐さんの

ひとこと

食は健康、環境、教育、経済、全てに付随しています。
物が飽和しているこの時代だからこそ、本当に大切なものは何か考えていきたいです。



➤ 神河町商工会 (11/14 開催)



町内商工業者の発展が町の活性化にも寄与している。
商工業者、商工会への町の支援を。

商工会会長 片岡 仁さん

町内団体で、商工会青年部が最も人口増に貢献していると思う。青年部員を増やす取り組みが最も必要ではないか。

商工会理事 森本 敬司さん



商工会では創業前に経営のノウハウを学んでいただく創業セミナーを実施している。創業後の創業者への経営面での支援が必要。

商工会事務局長
岸本 薫さん



町内に空き土地が少なく、若い人が家を建てられないと聞く。空き家は多いので、空き家解体費用の補助を。

商工会理事 森本 恭平さん

その他の意見

自分が所有している田んぼに家を建てたいが、ほ場整備が原因で建てられないと聞く。空き土地も少ないため、家を建てる土地がない。

意見交換会を開催！

1月30日に神戸町商工会「次世代プラン創造委員会」と意見交換会を開催しました。主な意見は次のとおりです。いただいた意見、提案を参考にし、町への働きかけ、議会改革を進めていきます。

結婚のための出会いの場、機会をつくってほしい。

結婚、出産時の補助金などについて、分かりやすく説明してほしい。

若者がずっと働ける環境づくりを。

土・日や夜間の交通の便の悪さを解消できないか。

住宅や店舗づくりのために農地転用等を簡素化できないか。

迷惑駐車やゴミの問題があり、有料化して町や地域の収益にできないか。

町政に関心がないのが、議員の定数割れの原因では。

議員の活動報告等をSNSを活用するなどし、住民と議員の敷居を低くしては。

子どもに知ってもらうために、各学校で出前議会などを行ってみたいかどうか。



稲川 恭子さん



小林 裕介さん



藤原 すずよさん



藤原 晃一郎さん



田中 博士さん



宮本 善郎さん



藤原 由勝さん



森本 恭平さん

大学生が議会本会議を初めて傍聴！

多様な人が活躍できる魅力ある町政を目指し、議会改革に取り組んでいます。その取組のひとつとして、神戸国際大学と連携し、12月6日の本会議を傍聴していただきました。そして、町外の若者目線で提案を受けました。提案をもとに、議会のあり方を見直し、議員のなり手不足解消につなげていくとともに、議員自身のスキルアップに努力することも踏まえ、町民の皆様に発信していきます。

議会に対して難しいイメージがあったが、実際に傍聴してみると居眠りをしたり、政党や派閥がいかがみ合ったりすることもなく、生活に関する内容を真面目に決めていることに心が湧いた。

町政に関心を持つために、小学校、中学校の授業に議会の傍聴を取り入れ、将来の議員の養成に役立ててみてはどうか。

現在の議員のなり手不足を解消するには、議員の兼業規定や給与体系の見直しも必要ではないか。

町民ももっと議会に関心を持つべきだと思う。



宅見 幸大さん



重見 太一さん



篠田 猛斗さん



堀田 侑吾さん



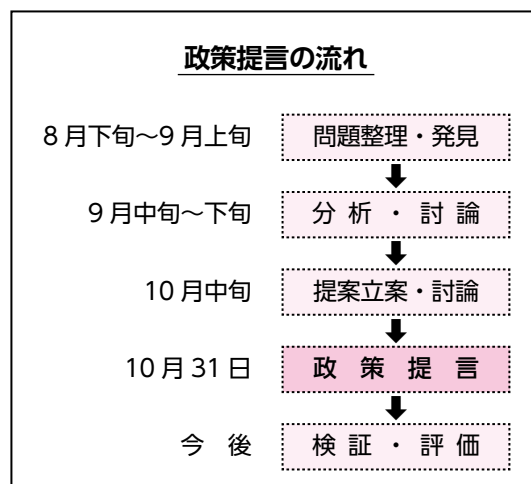
中村 智彦教授

議会改革の取組の1つとして ▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶ ◀▶ 各常任委員会から政策提言を提出！

各常任委員会では、令和5年8月から令和6年度予算に対する政策提言を協議してきました。町の課題についてテーマを選定し、調査・研究を重ね、総務文教常任委員会と民生福祉常任委員会でそれぞれ2項目の政策提言をまとめました。

提言書は10月31日の町との政策懇談会で各常任委員会から町長に提出しました。

今後は、政策提言に対する町の取組を各常任委員会で検証・評価していきます。



総務文教常任委員会の政策提言



- ① GIGA スクール推進・活用専門員を配置し、すべての児童・生徒が授業に参加できるシステムづくりを行うことを提案する。
- ② 通学方法の公平性、安全面などから スクールバス導入に向けての研究を行うプロジェクトチームの立ち上げを提案する。

民生福祉常任委員会の政策提言

- ① 保健師・専門職員が 在宅の介護認定者等と家族のケア訪問を行い、困りごと等を傾聴されることを提案する。
- ② 2050 ゼロカーボンに向けて 住宅用太陽光パネル及び蓄電池の共同購入事業導入を提案する。



* 産業建設常任委員会の検討テーマは「**デマンド型交通事業**」です。

今後、専門家のアドバイスを受けながら、デマンド型交通の効率的な運行を研究していきます。

産業建設常任委員会から 政策提言書を提出！

議会（産業建設常任委員会）から町に対して政策提言を行いました。この政策提言は、令和5年8月から調査・研究を重ねてきたもので、2年間をかけて政策提言を練り上げました。提言書は11月5日の町との政策懇談会で町長に提出しました。



提言名

住民福祉の向上と実態に即した 公共交通のあり方について

内 容

- ① スクールバス（園児や児童、生徒の通園・通学用のバス全般）と環状線は、従来どおり交通事業者に運行を委託する。
- ② ①以外の地域ではコミュニティバスを廃止し、廃止で生じる交通空白地（時間帯含む）では、自家用有償旅客運送制度を導入し、ドア to ドアでの移動を実現する。

今後、政策提言に対する町の取組を当委員会で検証・評価していきます。



京都府京丹後市で「ささえ合い交通」を学び、
政策提言に活かしました



政策提言とは？

町政の各分野における課題を解決するために、執行機関に対して議会から具体的な政策を積極的に提案することです。

次のページに
神河町の公共
交通の現状と
課題を記載し
ています。



特集

議会改革調査特別委員会を設置！

－ 議員のなり手不足解消を目的に －

神河町議会では、令和4年4月に執行された町議会議員選挙が無投票・定数割れであったことを大変重く受け止め、議会改革に取り組んできましたが、より一層の改革を推進するために特別委員会を設置しました。

○これまでの議会改革の取組

- ・ 議会改革を行う町への先進地視察
- ・ 神戸国際大学との連携
- ・ 常任委員会による政策提言
- ・ 意見交換会のすそ野を広げる



神戸国際大学との連携

○これからの議会改革の取組

- ・ 適正な議員報酬と定数の調査
- ・ 議会のあり方ゼミナールの開催

※これまでの取組も継続して行います。



意見交換会の様子



議会のあり方ゼミナールとは？

これからの議会と議員のあり方を考えるセミナーやワークショップ等通じて、目指すべき姿を参加者と議員が持つことで、今後の議会に必要な制度や環境を見出すとともに、議会との関わりを持ち、理解する住民を増やすことで議会の活性化を図ります。

北海道羊蹄山麓町村議会 正副議長会から視察訪問

7月10日に北海道羊蹄山麓町村議会正副議長会が議会改革の取組について、視察に来了られました。

議会から議長、議会改革調査特別委員長及び副委員長が出席し、当町議会の取組状況を説明し、意見交換を行いました。





神河町議会のあり方ゼミナール

高校生から70歳代までの町民22名とワークショップ等を通して、これからの神河町議会・議員のあり方を考えてきました。第1ステージでは全6回のゼミナールを開催し、開催結果は議会ホームページに掲載しています。(下のQRコードから閲覧可) 6回目の発表会の詳細は3、4ページで紹介しています。



第1回目 基調講演・パネル
ディスカッション



第2回目 ワークショップ
「あなたが思う議員像」



第3回目 ワークショップ
「多くの人が議員をやって
よいと思えるためには」



第4回目 ワークショップ
「あなたが町を変えられる？
できることから考えよう」



第5回目 ワークショップ
ゼミナール発表会の内容検討



第6回目 ゼミナール生発表会
町ホームページに発表会の様子を
公開中！



町民が考える神河町議会の課題と解決策

2月2日の発表会では、ゼミナール生が4回のワークショップを通して考えた議会の課題と解決策を議員に対して発表されました。ここでは、発表内容とゼミナール生の感想を紹介します。

私たちはこう考える！ 議会改革施策



竹國健二さん

立候補者を増やすために、議員になるための資質や能力、心構え等を自身で判断できる「議員適性診断サイト」を作成してはどうか。自分が立候補するときだけでなく、友人等に立候補を勧めるきっかけにもなるのでは。



成田新吾さん

今の仕事を続けながら議員になるのが難しいので、町の条例で会社から議員を立候補できるようにしてはどうか。議員を選出した会社には、町がその方の会社の給与を補てんすることで、会社にもメリットがある制度になるのでは。



竹國俊介さん

候補者確保、なり手不足解消のために、学校教育の一環で年1回、「子ども議会」を開催してはどうか。子どもは遊びの中で議会を学び、子どもを通じてその家族が議会に対して興味を持つのではないかな。



一宮真知子さん

議員に立候補したいが選挙費用が原因で立候補できない方がいることから、立候補に必要な費用を町等が負担する「選挙出馬費用支援制度」を創設してはどうか。制度創設により、立候補者増加を目指す。



藤原正好さん

現在の議員報酬22万5,000円では生活は厳しい。議員活動でかかる費用等を政務活動費で計上するとともに、議員報酬を30万円前後に引き上げてはどうか。報酬増額分は議員定数を削減し財源確保してはどうか。

議員の休日は不透明で、長期休暇が取れないという現状がある。そこで、「議員活動計画」を策定し、長期休暇を取得可能にしてはどうか。議員活動計画を公開することで、町民も議会の動きが分かるというメリットがあるのでは。



藤原朋訓さん

議員落選時や任期満了時に元の職場に戻るかという不安があり、立候補しづらい環境がある。会社に休職制度の導入を働きかけ、復職できる環境を整えることで、自身や家族の不安を取り除き、議員のなり手不足解消につなげては。



村岡廣隆さん

今の議会には育児や介護等家庭の事情を優先しづらい環境があり、それがなり手不足につながっていると考えます。そこで、議員活動とプライベート（育児・介護等）をサポートする「神河町議会サポーター制度」を創設してはどうか。

神河町議会サポーター制度とは？

- ①子育て環境改善のため、役場内に託児所を設置。
- ②議員活動をサポートするため、議員コンシェルジュとマネージャーを導入。
- ③家族の負担軽減のため、月約3万円の議員家族手当を支給。



上垣哲史さん



林田直子さん



藪内有希さん

今、神河町では議員が一人もいない地域と複数名いる地域とがあり、地域で偏りができている。その偏りをなくすため、区長制度を廃止し、各地区から議員1名を選出、40名の議員で議会を構成する「区長廃止制度・新神河町ビジョン条例」を制定してはどうか。議員がより身近な存在となり、町民は相談しやすくなるというメリットがある。



松本優介さん

ゼミナールに参加してみてもいい

議員の皆さんが高い志を持って活動されているということが分かりました。

まずは議会を知り、そして理解を積み上げていくことが大切だと感じました。



宮本善郎さん



藤原恵理さん

議会改革調査特別委員長のひとこと

私たち議員だけでは考えつかないような意見もあり、目を開かされる思いです。今後の議会活性化の取組につなげていければと思います。